

# 玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2022年12月号②号

## 年末のご挨拶 …いよいよ今年もあとわずか

皆さんの今年の一年はいかがでしたでしょうか。新型コロナウイルス感染症の収束の目処が見えず、精神的にも経済的にも、国民の暮らしは相当傷ついています。さらに物価高騰も激しく、生活はさらに厳しくなっておられるのではないのでしょうか。

年末になり、無事に年を越せるか心配という方もおられると思います。しかし、国も京都市も、生活支援対策があまりにも無策です。

さらに、京都市は**行財政改革計画**において、**敬老乗車証制度の改悪**で利用者の負担金を倍増しました。コロナ禍でも日々子ども達の成長発達や保護者の労働を保障するために頑張ってくれている**民間保育園に対する補助金を大幅カット**してしまいました。

保育園によっては、冬のボーナスのカットをやむを得ず、決めているところもあります。頑張っている労働者にとって、ボーナスが減ることは、モチベーションが下がりますし、悔しい思いをされている方も多くおられます。

なのに岸田自公政権は、**軍事費を5年間で43兆円に拡大**しようとしています。これまでから、どんどん増やし、1年間で5兆円を大きく超えてきています。今、武器や兵器を爆買いするよりも、市民の命と暮らしをまずは、応援すべきではないでしょうか。年の瀬迫り、国民の声に耳を傾けるべきだと思います。

危険な（老朽）原発も再稼働や新たに新增設することも打ち出していますが、福島原発の悲劇を忘れたのでしょうか・・・

不安の多い年末ですが、今こそ、住民が声だし、政治を動かすことが求められます。一緒に力を合わせましょう！

## リレー宣伝 浜田府会議員と北区一円宣伝しました。

応援の話をしてくれた5人の子どもを育てるお父さんから「子育てにお金がかかり大変。共産党に頑張ってほしい！」と語ってくれました。

私はコロナ感染で、老人ホームの入所者が入院できず命が守られない事態が起こっている実態を紹介し、医療や保健所の体制を充実させ、命が守られるよう頑張りたいと決意を述べました。



写真は西賀茂生協前

## つばやき：「新日本婦人の会」をご存じですか？

女性で創設されている団体はいくつかありますが、私は子どもができてから職場にあった新日本婦人の会に入っています。平和と女性の権利の実現に向けての運動や身近な要求実現のために活動している団体です。60年前に結成された全国単一の組織です。私は市政のことをお伝えしています。ジェンダーや安全な食について学び、楽しい取り組みとしては着付けやフラダンス、フラワーアレンジメントなどもチャレンジしました。



これからも、仲間と学んで、楽しみたいと思っています。先日は北支部の大会があり、市政の報告をしました。

## アンケート

京都市から子育て世代が転出……

子育て世代にとって、子どもを育てる環境を考えるのは当然です。要因としては住環境や自治体の独自子育て施策があると思う。家の値段は地域差はあまりないと思うが、土地の値段は大きく違う。京都市内でも格差があるが、京都市周辺の自治体に今、子育て世代が流出している。木津川市や大山崎町、亀岡市などは人口が増えている。市長は若い人が住みやすいように高さ規制を緩和し、高層マンションが建てられるようにすると提案している。しかし、それでは景色や環境が悪くなり、京都市の良さが悪化する……。しかも高層マンションが安いわけではない。

さらに、子どもの医療費は多くの自治体が、中学校卒業まで無料になっている。中学校給食も全員制で、京都市の様な選択制デリバリー弁当給食ではない。

しかも残念なのは**できれば、京都市に住み続けられた**と引越越された方の声が新聞で紹介されていた。子育て世代を精一杯応援する京都市にしたい！



子どもの笑顔は宝物！

アンパンマンと食パンマンがカメラ目線。

